

*****目次*****

- P1 今号の TOPICS 溝部浩二
P2 新副代表専任幹事のページ
宮澤富美雄
私の玉手箱 齊藤ちづみ
P3 仲間たちの近況報告 (1)
1班 前田長治
2班 小牧敬二
P4 仲間たちの近況報告 (2)
3班 上田忠司
4班 醬野政博
P5 仲間たちの近況報告 (3)
5班 藤田憲治
6班 宮阪信次
P6 リレー随筆 根崎明義
自由コーナー 松堂忠義
P7 樹形ウォッチング遊上眞一
P8 新人紹介コーナー
絵画コーナー 西田喜代三
俳句・川柳コーナー
谷坂修二、編集子

◇自然と文化だより◇

25号より前任の竹谷さんから引き継ぎ本格的に編集を担当することになりました。投稿頂いた皆様には多大なご協力をいただき、有難うございました。

自然と文化科は4月から新しい体制になりました。新代表、副代表から寄稿いただきました。自然と文化科に5名の新人を迎えて、新人紹介コーナーを設けました。今後のご活躍を期待します。

K.Nomu



今号の TOPICS 代表就任のご挨拶

代表 溝部 浩二

この4月に新しい代表に就任して早や3ヶ月が経ちました。無事スタートが切れたのも肥塚前代表はじめ皆様のご協力の賜物と感謝申し上げます。この機会に今年度の科の運営について課題をいくつか述べてみたいと思います。

まず第一は今年度で当科は 100 人体制になって2年目になったことです。昨年度一年間、100 人を超える大人数対応として組織の見直しや運営面で様々な工夫や努力をしてきましたが、今年度はこれらについて総合的に検証したいと思います。4 班体制から 6 班体制へ変更したことや、全員が同じ日に同一の活動をするうえで更なる工夫や改善の余地がないかなど、引き続き 100 人体制を前提に課題整理するつもりです。

次に、社会貢献活動の拡大です。社会貢献委員会が行うシニア自然観察会が今年度は 9 回と昨年度の倍近くになり、多数の科員が参加されていますが、一層力を入れて充実していく必要があります。また、観察委員会が行う箕面公開観察会も今年度から全ての講座生を対象に実施しており、より多くの科員の皆様のご協力をお願いいたします。

次に、調査研究的な活動の強化です。例えば委員会ごとに年間テーマを決めて、日常の活動の中で少しずつでも取り組むことが大切です。あまり難しく考えずに、ありふれたテーマでもよいから楽しみながら継続できたらと思います。また、8 月と 12 月の共通講座後の科内発表会を利用して発表し、科員相互の研修の場にすることも考えられます。

次に科員相互の意思疎通についてです。100 人を超える陣容で同じような内容の活動を毎年繰り返しているとしてもどうしてもマンネリに陥りやすくなります。組織の活性化を保つには常に見直し・改善の努力が必要になってきます。このためには日常の班活動や委員会活動の中で積極的に意見を言い合えることがポイントです。在籍期間の長い人も短い人も仲間として互いの意思疎通を図っていこうという姿勢・心構えが大切ではないでしょうか。

今年 4 月に実施した一泊研修旅行のアンケートでは改善を求める多様な意見が寄せられました。大人数になっていろいろな世代から幅広い意見が出て来るのは大変良いことで、これからも折に触れて積極的なご意見・ご提案をお願いします。

最後に、活動方針の中に「参加して楽しく、心が通い合う研究科を目指す」とあります。これは当科の活動において基本的に大切な視点だと思います。「参加して楽しい」すなわち「楽しむために参加する」。何事も楽しくなければ長続きしないわけで、このことが私達の活動をこの先 15 周年・20 周年に向けて発展させる原点だと思っています。

自然の素晴らしさに乾杯！

副代表 宮澤 富美雄

三木武夫さんの言葉を借りれば「青天の霹靂（せてんのへきれき）」でしょうか。とにかく、まったくの想定外でした。

溝部新代表から「ちょっといいかな」と言われた時は「ははあ、観察の幹事はやむを得ないかな」と覚悟はしたのですが、まさか専任幹事とは！！（しかも副代表というオマケつき）。ということで、観察委員初めてにして、いきなり専任幹事になってしまいました。

生家が園芸農家だったこともあり、植物は好きだったのですが、ただ好きというだけで、それ以上でもそれ以下でもなく、本科の講座で「この木は、花の咲く木ですか？」と、とぼけた質問をする程度のレベルからスタートした私です。

やりたいことはすべてやり、生きたいように自由に生き、そして、全力疾走で生きてきた私の人生は、一旦60才で完結しており、それ以降はいわば付録の人生です。「のんびり、ゆっくり、気ままな一人旅」で生きていく予定でした。

こんな私が専任幹事になってしまいました。「さて、どうしよう」です。ただ、切り替えの早さとプラス思考が私の身上です。これからは、知識と経験豊富な委員の方々に全面的に助けていただいて、少しでも科と委員会のお役に立てればと考えています。

「自然観察会はどうあるべきか」。昨年のアンケートでもいろいろな意見が出ているようです。ただ、少なくとも、

- ①多くの科員の方に参加していただける企画
 - ②楽しみ、満足していただける内容
- そして、なにより
- ③自然の不思議さ、素晴らしさに感動するような観察会。

こんな観察会がいいな、と思っています。

『心はいつも20代』で全力投球していきます。

私の蕎麦道

5班 齊藤 ちづみ

そろそろ卒業してもいいかなと思っている蕎麦打ちです。先輩のお誘いで体験してから手ほどきを受け、試行錯誤して10年も経ちました。蕎麦打ちの工程で菊練りがあるのですが、それが上手く出来ず、何とか形にしたいと挑戦していくうちに次々と課題が増えて深みにはまり込みました。夢中になると楽しさに加えて欲も出て来て、自己啓発の為に段位取得に数回挑戦しました。どうも凝り性が原因だと思います。

蕎麦打ちは水回しで決まると言われます。蕎麦粉とつなぎ粉を合わせて、水を加えながら攪拌し小さな玉の固まり状態にします。その日の天気や手の温度も作用し、麺の固さの好み、そして蕎麦粉の産地、挽き方によっても加水の量が違います。全てひっくり返す水回しです。この微妙で複雑な条件から満足できる仕上がりは少ないのです。華やかに見えて人目を引く蕎麦切りはリズムカルに包丁を入れ、切り口は四角に切ります。

蕎麦の原産地は中国南部だそうです。日本での栽培は縄文時代後期から弥生時代にかけてです。高知県の弥生遺跡から花粉が検



出されたそうです。現在は北海道産が多いです。蕎麦屋の始まりは宝暦7年の「大阪・新町細見の図」の記述に俗称で砂場と呼ばれた新町の遊郭近くに2軒の麺類屋（和泉屋と津国屋）があり、このうち津国屋の創業年は天正12年（1584年）と書かれて最古の蕎麦屋は関西ではないかと言われます。しかし蕎麦打ちの盛んな関東で異論もあり東西本家論争の種です。最近になって関西での蕎麦打ち人口が増え普及してきました。私も少しは普及活動のお手伝いをしたのではないかなと思っています。

手ほどきを受けた打ち方は越前おろしそばで有名な福井流です。福井は美味しい蕎麦の産地が多数あります。そのお蕎麦を食べに今庄の蕎麦屋に通った事もありました。でも、今は自分で打つ蕎麦が美味しいと思えるようになり行かなくなりました。大きな進歩だと思っています。

六甲山分割全縦とダイトレ 5 山 3 峠

1 班 前田 長治

9 年前に、芦屋川から高座の滝、一軒茶屋、極楽茶屋、有馬三山と縦走したときに、膝を痛めて、もう登山は出来ないとあきらめていた。ところが、昨年、塩見岳に誘ってくれる人がいて、一念発起し登山に再挑戦することになった。まず、登山ストックを購入し、膝への負担を軽減した。これが功を奏して、塩見岳はなんとかクリアした。そのことに気を良くして昨年の秋に六甲山全山縦走を 2 回に分けて挑戦することにした。

万が一のことを考えて人の多い土曜日にした。須磨浦公園駅を 7 時に出発し、馬の背、菊水山、市ヶ原を經由し、新神戸駅に 16 時半に到着した。ほぼ標準コースタイム通りであった。この区間は舗装道や市街地が多く、道迷いが多い。道迷いによるロスタイムを懸念したが、標識が完備されており問題はなかったが、菊水山の登りが一番きつかった。ゼイゼイと言いながら、休憩していると、屈強そうな 70 がらみの先輩から「昨日の夜更かしが効いたの？」と慰められる始末。

後半は、10 月下旬に実施した。新神戸を 6 時半に出発し、市ヶ原、極楽茶屋跡、船坂峠、塩尾寺を經由して 16 時に宝塚駅に到着した。今回は基本的には下りのために、標準コースタイムより早く到着出来た。山道のため道迷いもなかった。駅前でのビールが最高に旨かった。

次なる挑戦は、金剛山のダイトレにした。これは今年の 3 月に実施。3 月末までに、8 か所の写真があれば、認定書と缶バッジ 3 個がもらえるからである。3 分割で達成した。前半は南海紀見峠駅から行者杉、伏見峠、国見城跡を經由し、香楠荘で宿泊し、竹内峠、穴虫峠、関屋駅を目ざした。

今回は 2 日とも平日のため、登山道ではほとんど人には遭わなかった。香楠荘では宿泊客は私だけであり、大きな食堂で 1 名だけの夕食となった。夕食はセット料金のため、ボリュームが多く、完食するのが、大変であった。久しぶりに美しい夕日を見ながらの食事となった。翌朝は 7 時の出発で関屋駅到着は 17 時半となった。もちろん、ビールでわが身に感謝をした。後半は一週間後に紀見峠駅から岩湧山、槇尾山施福寺で完了した。8 か所はスマホで自分撮りをして、証明写真とした。

今後の目標は、100 名山は不可能にしても、学生時代に雨で断念した剣岳の再挑戦。

私と硬式テニスについて

2 班 小牧 敬二

私が硬式テニスを始めたのは 18 歳の時でした。以後 50 年以上はほとんどブランクなく、続けてきました。現役時代は幸いなことに、社内、社宅にコートがあり、外出、出張等でいない時以外はほとんど毎日昼食後か仕事終了後にボールを打っていました。土、日は家の事はあまりせず、50%ぐらいはテニスクラブに通っていました。今はそれを反省しています。現在は自分の体力を考慮して、2~3 回/週に減っています。

テニスはゴルフと異なり動くボールを動きながら打つので、自由自在にボールを操るまでは相当時間がかかります。ただし実際にボールをより安定に打つために直前に一瞬、体の動きを止めなければいけません。また、テニスの上達には脚力（フットワーク）とボールを最後まで良く見ることが必要です。錦織選手が世界に通用しているのは並みはずれたフットワークを持っているからです。

今思うと 20~30 歳代は練習をするだけ、レベルが向上しました。40~50 代は現状維持、60 代以上は実力が低下し続けています。今後は 80 歳を超えても楽しく、元気にテニスができるよう日々努力していきたいと思っています。私の記憶に残る記録をあげると次のようになります。

1. 1975 年: 尼崎市長杯（男子ダブルス優勝）
2. 1980 年: 夕刊フジ争奪テニス大会（全国優勝）
3. 1984 年: 宝塚市民大会（男子ダブルス優勝）
4. 2007 年: ねんりんピック兵庫代表（60 歳以上）

この結果から 30~40 歳代が技術、体力、精神面で一番充実した時期だったと思います。

テニスから学んだこと：何事も粘り強く・工夫し・楽しく続けることです。

全国優勝表彰式（左：小牧）



植物とのお付き合い

3班 上田 忠司

シニア自然大学校では植物は観察がもっぱらですが、育てるのも楽しいものです。家では家庭菜園と花の栽培を行なっています。家庭菜園では、エンドウ、ソラマメが収穫時期を迎えています。タマネギは5月末頃でしょう。去年の冬は厳しい寒さの日が多かったためか、タマネギの2割程度が育ちませんでした。今年は天候も安定しているため夏野菜は順調に植付けが進みました。家庭菜園で難しいことは、植付け時期と連作障害です。仕事の傍らのため、土日雨が降ると1週間のお預けとなります。その結果種まき時が遅れたり、苗の入手が難しくなったりします。また、豆類など連作できないものがあるため、畑の輪作に苦労します。収穫時のため場所を確保できず次の栽培が遅れるなどのことが起こります。ポット苗で種まき出来るものはそれでいいです。失敗するとその年は収穫にありつけません。

花の栽培はもっと厳しくて1年間丹精しても花が見られず、どこを間違えたか反省すると共に悔しい思いをします。特に力を入れて育てているのが洋ランです。シンビジューム、デンドロビューム、カトレア、コチョウランなどです。シンビジュームは失敗すると「お茂りさん」になります。葉がワサワサ茂ったのをよく見かけるでしょ。カトレアはミニ、ミディサイズのもので、無加温で育てていますが、戸建ての家はマンションほど室内温度を維持できないため、冬場の管理が難しくなります。購入時の説明は最低気温5度まで大丈夫といいますが、難しいものもあります。夏場の日除け、夜間の温度をさげるための散水など手にかかる植物です。生育環境に慣れるのに2,3年かかります。本科時代の教育実習で参加した川久保溪谷で落ちていた（採取したわけではありません。）カヤランをいただきました。これも育てていますが今年も綺麗に咲きました。

カヤラン

カトレア



背割堤の花見

4班 醬野 政博

京阪八幡市駅から徒歩約10分、木津川御幸橋を渡ったところにある「背割堤」を会場に、毎年桜の開花時期である4月上旬、『八幡桜まつり』が開催されています。4月4日(土)、高等科13期2グループの皆さん7人と、この背割堤へ花見に行ってきました。

八幡桜まつりの期間中、お花見船Eボートが運行されており、背割堤入口の乗船場から背割堤の先端《剣先》の下船場まで約1.2kmを10人乗りのゴムボートで、宇治川の流れのままに桜見物をするものです。我々もこれに乗船し、『桜だけでなく、河川敷にはヨシ等が茂り多くの野鳥や昆虫も見られ自然の宝庫である』との船頭さんの解説を聞きながら、剣先まで行きました。剣先近くには1本だけソメイヨシノと異なる桜があり、『花と葉が同時に出ています』とか、『密腺が葉柄に一对ある』などとワイワイ言いながら、オオシマザクラと同定し、その近くで花見弁当を広げ、お酒で乾杯となりました。昼食の後、背割堤沿いに約1.4kmにわたって植えられた約500本の満開のソメイヨシノの素晴らしい光景の中を歩いて御幸橋まで戻りました。



背割堤の桜並木

ところで十代後半の頃、京都へ遊びに行く京阪電車の車窓から眺めた背割堤は、確か松並木であったように思い出され、また『時代劇の侍が馬に乗って松並木を駆け抜けるのを映画撮影するところである』と聞いたことがありました。そこで帰宅後調べると、背割堤は昭和50年代初めまでは松並木で、別名「山城の橋立」と呼ばれていましたが、害虫被害により松枯れする木が多くなり、昭和53年3月、当時の建設省によって桜が植えられたことが分かりました。

4月24日に自然と文化科の歴史散策で行った法隆寺の立派な松並木、松枯れ対策として、こまめに植え替えて景観を保持しているとのこと。松枯れ対策として桜を植樹し、全国人気お花見スポットランキングでいつも上位になっている背割堤、何か複雑な思いがしてきました。

飽き性？浮気性？ 中途半端

5班 藤田 憲治

中途半端な人生。何をしても完遂せず。

小学時代に父に習った囲碁将棋。共に五級迄は到達したがそれ以上伸びず。しかしこのクラスが一番対戦相手が多いのでまあいいかと、自分に言い聞かせる。置き碁・駒落ちは屈辱的で嫌い。算盤・書道・絵画は算盤こそ何とか三級まではいったが、右脳の働きが悪いのか書道・絵画は諦める。中学時代には演劇部・陸上部・野球部と渡り歩くも何一つものにならず。高校時代にはクラシック音楽にはまりコンサートホールソサエティ社の月一回のLPの頒布会に入り一日二時間ほどは聴いていた。五年ほどは続いたろうか。キャビネットが溢れかえていたが全部友人に譲渡。大学時代は混声合唱団に入りこれは何とか六年続いた。しかし、歌が好きなのではなく活動自体が好きただだったようだ。今でも歌うのは嫌い。キーが低すぎて……。二年間独裁的な運営をして嫌われ、いつも合宿の人気投票では嫌いな方のトップ。原因は「団内恋愛禁止」。同時代に早稲田式速記を通信教育で始めたが根気が続かず半年でケツを割る。また、いわゆる「純文学」といわれるものを読み耽るも学生結婚を機にぱたりと止まった。社会人になってから読んだのは数冊程度。英語が苦手でYMCAに入って英会話を習ったが授業はすべて英語ということで着いてゆけず、これも半年で左様なら。社会人二年目で尺八「都山流」に入門。メリ・カリ・ユリを習い、まず「六段」から……。「ロリロリウリ～レ～レッ叩～」。安物の竹なのでなかなか音が出ない。高価な竹は初心者でも驚くほど音が出やすい。しかしこれも一年で沈没。四十代から毎週のようにトレッキングをするも「シニア自然大学校」に入り時間がとれなくなって今に至る。その間森林インストラクターの勉強をするも生半可な気持ちでは無理だった。「森林」「林業」「森林内の野外活動」「安全及び教育・実技・面接」。問題集を読むと腰が引ける。「森林」だけで精一杯。手話にも興味を持ち初歩的なことからやり始め、NHKの手話ニュースも毎日のように見たが全く使う機会に出くわさなかった。そのうち忘れてしまった。シニア自然大学校の「自然と文化科」では最初「観察委員」であったが、ここ二年は「社会貢献委員」。果たしていつまで続くのか。また、「工作同好会」に今年入ったがこれはどうか？思いつきで初めてすぐ諦める。この十年で生存を諦めたことも複数回。

ペットの存在

6班 宮阪 信次

近年、社会弱者に対するペットの効用が、話題にされるようになっていきます。ペットが傍らにいて、脳が活性化されるそうです。また、こころのケアでは、ペットセラピーの役目も果たすとかで、ペットが家族の一員になっている事例を見聞します。

我が家にも、バフ色のアメリカン・コーカー・スパニエル犬がいます。年齢は11月で満4歳。我が家では3匹目の犬で、2代目は私達家族の一員として満10歳まで生き、私達を和ませてくれました。犬との別れが悲しく、犬を飼うのは二度と止め



ようと家族で固く決意しましたが、半年後、意志が弱い私が岡山市のブリーダーの家で産まれたての子犬を見て、私達に飼ってほしいと訴えているようで、即、新幹線にのせて、うちの子にしまいました。息子の真司は、新しい子犬を飼うことを快諾し、名前もリッキーと命名しました。

真司は生まれながらの進行性難病（筋ジストロフィー）で、手足の筋肉が衰え、人工呼吸器をつけ、口に銜えたスイッチでパソコンを操作し、インターネットやメールをしてQOLを楽しんでいます。彼は4年前から、両親から独立し、ヘルパーさんたちと24時間自立生活をスタートしました。現在、



リッキーと私たち両親がほぼ毎日、真司を訪問することを日課にしている、最初にやることはリッキーのあいさつ代わりにのキスです。真司とリッキーはお互い、兄弟であるかのごとくつきあっていて、お互い犬言葉が理解できるように見えます。真司にとって、リッキーの存在はペット以上で、リッキーのいない日々は考えたくないそうです。ニュースで梅雨入りしたと知ると、早速インターネットで高価な犬用衣類を注文していました。

私達家族4人（3人と一匹）こんな生活を長く続けられるよう念じています。

樹形 ウォッチング

自然の中で生きている樹木を観察すると、それぞれの環境に適応した樹形となっていて、
その逞しい生命力に 感動させられます。

そして それを巧みに利用してきた 人々の知恵と、文化にも注目してみましょう。

5班 遊上 眞一

萌芽更新（台場クヌギ）



台場クヌギ。炭焼きに伐採した部分から萌芽が出て
8～10 年後には再び伐採できる太さに育ちます。
今も炭焼きが行われている 川西市黒川の里山で
は台場クヌギの林が 健在です。

萌芽更新（エノキ株立ち）



本来は 単幹で大きく枝を張るエノキですが、
切り株からヒコバエ（若芽）が生えてきて、それが
育ち 立派な12本の株立ちとなりました。
（池田市 五月山 杉ヶ谷）

萌芽更新を防ぐ 巻き枯らし



ハリエンジュは 伐採しても水平に伸びた根から
根萌芽が出て、すぐに元通りの林になってしま
います。そこで 樹皮を形成層から切取る巻き枯
らしを行ない枯れるのを待ちます。只 枯れるまで
数年かかるため、木の中に害虫が発生する。又
いつ倒れるか分からず危ないなどのリスクがあ
ります。（宝塚市 きずきの森）

萌芽更新（北山台杉）



元々は、急峻で森林面積の狭い京都北山地方で、
北山杉の磨き丸太を作るための手法として発達
しましたが、観賞用としても 洋風・和風を問わず
優れているので、庭園や公共施設、ゴルフ場など
幅広く植えられています。（宝塚市 雲雀丘）

農の初め

5班 根崎 明義

なかなか植物名を覚えられず、違いも分からない、自分で育てたら少しは理解が進むかと、阪神 C の園芸科に入り勉強してきましたが、進展はあまりなく、同級生の多くが畑を借りるなどして実践しているのを聞き、どうしようか迷っていたところに近所での貸農園開始のチラシがあり、これを逃したら園芸科を続ける意味はないと即借りることにしました。

4月1日からのスタートでした。初めての挑戦で、土地を借りたということにも少し感慨も感じたりしたのですが、20㎡の土地で畝が4つあります。初めてには少し広いかとも思いましたが、ダメ元で気楽に進めるつもりでした。参考書など買い込み比較的栽培しやすそうで食べやすそうなものと、小カブ・ニンジン・トウモロコシ・エダマメの種を購入しました。またジャガイモは簡単という話を聞き、食用を切り乾燥させて、種イモにしました。

まず最初に小カブと人参の種を一畝にまきました。小カブの種は1mmに満たないような小ささでこれが大きくなるのか、心もとなく感じましたが、数個ずつ格子状にまき、ニンジンは条まきで2列、トウモロコシは育苗ブロックで育て、芽が出たものをマルチ掛けで覆いをした一畝全体に植えました。雨が続き遅れましたが、ジャガイモも10切れ程埋め込みました。トウモロコシは比較的順調に育ち始めています。

最初に芽を出し喜んだのは小カブでしたが、すぐに葉が穴だらけになり、筋だけの無残な姿になりました。よく見ると黒い虫がおり、正に虫がついたことを知らされました。別途購入した食用ホオズキの苗も畑に移す前に葉が食われ、透明の粘液を追ひ、ナメクジの仕業と知りました。ナメクジは育苗中のトウモロコシにも付き、植物の敵であることを認識しました。殆ど気付くことも無かったナメクジや青虫が今や見付け次第押しつぶす対象になりました。生物を育てることは生存競争の前線に立つことでもあると改めて感じました。

すでに収穫を上げ、規則正しく整理され、葉が生い茂った畑の多い中で、生産者の性格のごとく無秩序に並び、虫食いに息も絶え絶えの葉も混じった疎らな畑の中で、まともに採れたら多過ぎて処理に困るのではなどと、とらぬ狸の夢想も時々浮かぶ今日このごろです。

「植物観察」こんな楽しみ方も(1)

3班 松堂 忠義

永年、食品香料に関わる仕事をしていました。当NPOで樹木観察を重ねるうちに、樹木を形状からだけでなく「におい」の面から観察するのも面白いのではないかと思います、古い記憶や文献等を纏めてみました。以下、ご一読あれ！

一般的に香料化合物は分子量20～400程度の揮発性化合物で、約40万種あるとされています。大きくは天然香料と合成香料に分けられます。今回は天然香料それも樹木に関する植物性香料に絞って進めたいと思います。

大半の香気成分は葉・花・幹・枝・根等を水蒸気蒸溜等の方法によって得られる精油からなります。精油は単一の成分でなく、植物の花・葉等から得られる芳香・揮発性の油からなる香気成分の混合物です。例えば、「スギの葉」から得られる精油は通常50～100種類程度の香気成分で構成されています。さて、私達が通常観察する樹木では次のような樹種に「においの素」である精油が多いとされています。植物観察の折、出合えば、是非手に取って見て下さい。植物観察の楽しみが一段と増すかもしれません。

- ①マツ科(トドマツ・カラマツ・ハイマツ等)
- ②ヒノキ科(ヒノキ・サワラ・ネズコ等)
- ③クスノキ科(クスノキ・タブノキ・シロモジ等)
- ④マキ科(イヌマキ等)
- ⑤イチイ科(イチイ等)
- ⑥ツツジ科(アセビ・ミヤマキリシマ等)
- ⑦ミカン科(サンショウ等)です。

今回は「香り」を「におい」という言葉で表現しました。固くならず、出来るだけニュートラルにと表現したかったので、この言葉にしました。「におい」を表現するにはある程度の馴れが必要です。

第一歩は先ず「かぐ」事です。次にその「におい」が身の回りの「何」のにおいに類似しているのかを表現出来れば、「におい」の共有化が出来ると思います。例えば、ギンバイカの「葉」から「ユーカリのにおい」がしませんか？

*参考文献

- ①奥田 治 香料化学総覧 ①② 広川書店
- ②谷田貝 光克 林業技術 HB 森総研

新人紹介コーナー



岩井 宏子
6班副班長・社会貢献
シ18期緑組
豊中市
ネイチャー学志山歩会

自然と文化科の充実した活動について行けるように、健康に留意して、がんばります。



岩崎 優
5班班長・総務
シ18期風組
箕面市
ソラードの会

得意分野はこれといってありません。強いていえば淡水魚が好きです。植物の名前はいたって知りません。ご指導よろしくお願いします。



醬野 政博
4班班長・総務
シ20期花組
大阪市城東区

先輩の方々から自然観察と歴史文化について学び、趣味としているウォーキング(JWA 会員)と茶の湯と三位一体となることを目指したい。



前田 長治
1班副班長・調査
自19期星組
伊丹市
星組アシスタント
ネイチャー学志山歩会

得意分野：物理、化学、環境問題、樹木 野外活動
抱負：植生に於ける樹木の特徴、地質と植生の関係等の知識を深めたい。また、樹木がどんな状態にあっても、種名が言えること。

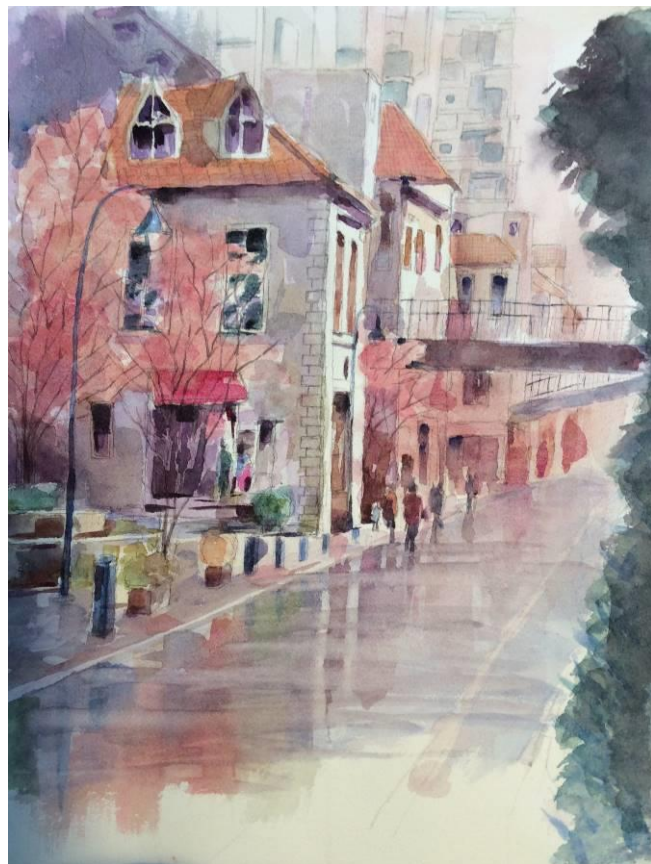


和田 光子
2班副班長・観察
シ20期花組
大阪市住之江区

得意分野はありません。ただ食べることはだいすきです。ただの食いしん坊です。学ぶのが楽しくて、高等科、自然と文化科と進んできました。インプリは苦手です。

俳句・川柳・絵画 サ ロ ン

透明水彩画「宝塚花の道」 1班 西田 喜代三



6月号俳句・川柳

1班 谷坂 修二

大台ヶ原にて
石楠花の枝曲りても花集う
大杉の滝白く落ち碧き淵
雲おきて峯霞立つシロヤシロ

編集子

自然観察会にて
あれこれと聞いたはずだがコレはアレ
毛があって毒もあるけど虫が好き
気持ち悪い字余りだったが今きもち
ガとチョウの区別きもちいか可愛い

自然と文化だより
皆様のご協力により25号が発行出来ました。次号もお楽しみに！（広報委員会）